福島のぶゆき国会日誌

＜国土交通委員会で質疑＞

28 日、国土交通委員会で、鉄道政策について斉藤鉄夫〝鉄っちゃん〟国土交通大臣と議論いたしました。

7 月に国土交通省の「鉄道事業者と地域の共同による地域モビリティの刷新に関する検討会」の提言が出され、輸送密度が 1,000 人未満等の要件を満たす線区は、今後のあり方について国が主体的に関与して協議することとなりました。茨城県では、常陸大宮以北の水郡線や鹿島線が該当する可能性があります。こうした協議の場は必要なものであると考えますが、そもそも日本の国土政策において鉄道とはどのような役割、位置づけのものなのか、ということは国自身が定めなければなりません。

国鉄分割民営化以降、道路や港湾、空港などのインフラは国のお金が入って国主導で整備されているのに、鉄道は整備新幹線などを除いて民間任せになっています。来年策定される予定の「国土形成計画」で、国として鉄道インフラをどう位置づけるのか明確にすべきことを訴えました。

国鉄分割民営化以後の鉄道事業の運営体制をどうするのかというような大きな課題は、官僚が判断するものではありません。国会の場で、政治家同士の議論を活性化すべきことを指摘いたしました。

議論の模様は、右の QR コードからご覧になれます。

＜有志の会　駐日台湾大使と昼食意交換会＞

25 日は有志の会の勉強会として、謝長廷台北駐日経済文化代表処代表（駐日台湾大使、元首相）との意見交換を行いました。先日、台湾の国慶双十節の時、総統府で蔡英文総統からうなぎの蒲焼丼をいただいたので、お返しにうな丼を食べながらです。

折しも中国の新たな指導部人事が決まったばかり。東アジア情勢から台湾との地域間交流の話まで、たっぷりと議論いたしました。いずれ有志の会でも台湾に行って、台湾のリーダーたちとさまざまな議論をしたいと思います。

＜茨城県退職公務員連盟からの要望＞

25 日、退職公務員連盟の水戸支部・筑西支部・桜川支部・下妻支部の役員のさんが要望活動にいらっしゃいました。

校長先生などを務め、退職後は地域活動の核になっている方たちです。ちょうど私が学校に行っている時の担任の先生たちと同世代の方々で、国会審議の合間に、地元の人生の先輩方と今の日本や地域が抱える問題についていろいろとお話しさせていただき、貴重な時間を過ごしました。

＜「福島のぶゆき躍進のつどい」開催します＞

11 月 7 日の 18：30～水戸京成ホテルで政治資金パーティーを開催します。有志の会のメンバーが水戸に結集して、今後の日本政治に私たちがどのような役割を果たしていくのか、直接お話いたします。

コロナ禍の時世飲食の提供はありませんが、オンラインでも参加することができます。私たちは政党助成金をいただいておりません。ぜひご協力たまわりますと幸いです。お申し込みは、福島のぶゆき水戸事務所　TEL：029-302-8895　までお願いします。

衆議院議員　福島伸享事務所【国会事務所】〒100-8982　東京都千代田区永田町 2-1-2 衆議院第二議員会館 419 号室
TEL 03-3508-7262　FAX 03-3508-3532　メール　h19293@shugiin.go.jp